

一般社団法人 庄原青年会議所の2024年活動実績

庄原青年会議所は、大きく分けて青少年系・社会系・人財育成系の3本柱で事業を行っております。

2024年度 10月度事業 「中学生になる君たちへ —J氏からの挑戦状—」

庄原中学校には、旧庄原市の7つの小学校から多くの生徒が進学します。それぞれの小学校には大きな学校や小さな学校があり、進学にあたって不安や人間関係で悩んでいる子どもたちもいることから、進学前に交流を深めることを目的に、10月12日(土)~13日(日)の1泊2日で本事業を実施しました。



1日目
(10月12日)

まずは庄原市内でクイズラリーを行いました。このクイズでは、庄原市や庄原中学校に関する問題に答えてもらい、地域や学校についての理解を深めてもらいました。その後、バスに乗って備北オートビレッジへ移動。ここでは、みんなで協力してカレーを作り、キャンプファイヤーを囲んで楽しいひとときを過ごしました。キャンプファイヤーでは、初めは恥ずかしがっていた生徒たちも、次第に声を合わせて大いに盛り上がり、絆も深まった様子でした。その後で肝試しを行い、みんなでワクワクした冒険を楽しみました。

2日目
(10月13日)

翌日にはニュースポーツ大会を行い、参加者全員が一緒に体を動かして交流を深めました。この活動を通して、お互いの仲間意識や協力の大切さを学びました。



今回の事業を通じて、庄原中学校に進学する前に得た出会いや経験を、これからの学校生活に活かしてほしいと思います。そして今回、お子様を預けてくださった保護者の皆さま、怪我もなく安全に楽しく事業を行うことができました。ご協力ありがとうございました。

「フラワー通り花いっぱい運動」に参加

11月14日(木)、庄原青年会議所のメンバーとともに、庄原市中心街にあるフラワー通りで開催された「フラワー通り花いっぱい運動」に参加しました。この運動は、庄原市内のフラワー通りをもっときれいに、もっと楽しくしようという取り組みで、街に花をたくさん植える活動です。

今回は、庄原青年会議所のメンバー全員で花を植えながら、地域の美化に少しでも貢献できるように努めました。そして、街が花でいっぱいになることで、通りを歩く人々も笑顔になり、庄原市がさらに素敵な街になることを目指して頑張ってきました。今後も地域を元気にする活動を続けていきますので、ぜひ皆さんも応援してください!



挑戦や経験を積みたい方大歓迎!!

一般社団法人

入会資格 / 満20歳以上40歳未満

庄原青年会議所 会員募集中

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 商工会議所内

MAIL / sjci@mx4.tiki.ne.jp FAX / 0824-72-9116



ホームページ



facebook



Instagram

編集後記

総務広報推進委員会委員長

土井 裕貴

今回のJCマガジンでは、卒業生のお二人、田原監事と稲富委員長に庄原青年会議所での思い出をお伺いしました。大変な時期もありましたが、仲間の大切さや地域の方々への感謝の気持ちが印象的でした。お二人のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

『LIGHT』には、“まだ見えない光を求めて限界突破”の「光」と「JCI会員にもスポットライトが当たるように」の2つの意味が込められています。



監事・
第42回庄原よとこ祭
実行委員長

田原 智博

(有)共栄自動車商会
取締役

JC入会
2014年

思い出に残るJC活動を教えてください

私は庄原青年会議所での活動を通じて、多くの貴重な経験をさせていただきました。その中でも特に印象深いのは、委員長として担当した事業です。特に心に残っているのは、2017年10月に開催した「金藤理絵 水泳レベルアップ教室」です。リオオリンピックで金メダルを獲得された金藤理絵選手をお招きし、地域の子どもたちと直接交流できる貴重な機会を提供できました。

スケジュールは非常に厳しく、休憩中に調整をお願いすることもありましたが、メンバー全員の協力で無事に成功させることができました。金藤選手の話は、スポーツにとどまらず、「挑戦する力」や「逆境を乗り越える力」についても学ぶことができ、参加者全員に新たな気づきを与えていただいたと思います。

さらにコロナ禍では、未知の病原菌である新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、会議の運営方法が大きく変わりました。ZOOMを活用したオンライン会議の導入が急務となり、これまで対面で行っていた活動が制限される中で、リモートでのコミュニケーションが中心となりました。私自身、専務として初めてのオンライン会議で不安もありましたが、柔軟に対応し、メンバー全員で協力しながら円滑に進めることができました。この経験は今後の活動において大きな財産となり、変化に対応する力を養う貴重な機会となりました。

青年会議所での活動を通じて、多くの方々と出会い、繋がることができたことは私にとって大きな財産です。さまざまな団体との交流を通じて、視野を広げ、考え方を深めることができたと思います。人と人との絆を深め、共に学び合い成長した経験は、これからの人生において大きな支えになると感じています。

庄原青年会議所で過ごした時間は、私にとってかけがえのない宝物であり、今後の活動においてもその経験を活かしていきたいと強く感じています。



金藤理絵 水泳レベルアップ教室

第42回 庄原よとこ祭の御礼

わたくし田原智博は、第42回庄原よとこ祭実行委員会の実行委員長を務めさせていただきました。

今年の実行委員会には、約70人のメンバーが参加してくれました。企業からの出向メンバーや個人での有志の方々など、多様な背景を持った皆さんが集まり、祭を作り上げるために力を尽くしていただきました。当日には100人以上の実行委員が集まり、無事盛大に開催することができました。

また、祭に足を運んでくださった地域の皆さま、そして参加してくださったすべての方々にも心より感謝申し上げます。さらに、企業および個人の皆さまからのご協賛にも深く感謝申し上げます。皆さまのご支援とご協力があったからこそ、今年の祭は大成功を収めることができました。会場の熱気や笑顔、楽しんでくださる姿を見て、改めてこの祭の重要さと、地域一丸となって作り上げる力を実感しました。

輝く青少年確心委員会
委員長

稲富 英樹

伸成塗装
代表

JC入会
2022年



思い出に残るJC活動を教えてください

昨年の9月頃、八野理事長から青少年育成に関する委員長を任せたいというお話をいただきました。当時の私は庄原青年会議所に入会したばかりで、右も左もわからない状況でした。委員長という大役に不安はありましたが、庄原市の子どもたちが不安なく楽しく生活できる環境を作りたい、そして彼らの笑顔を引き出したいという想いが強く、思い切って引き受けました。

委員長を務める中で、私の生活は大きく変わりました。まず、パソコンを扱うことになったのです。それまでほとんどパソコンに触れる機会がなく、電源の入れ方すら分からなかった私ですが、この機会に自分のパソコンを購入し、操作を学びました。そしてそのパソコンで議案書を作るという、初めての挑戦にも戸惑いました。青年会議所では、委員長自らが事業計画書を作成し、事業を構築していくことが求められますが、これがまた慣れない作業の連続で、大変苦労しました。

議案書を作り、事業を進めるのは正直なところ大変でしたが、どうすれば子どもたちが笑顔になるか、より良い事業にするためには何が必要かと考えるうちに、次第に楽しさとやりがいを感じるようになりました。委員長としての役割が心から楽しいと感じられるようになったのです。

この一年で最も大きな財産となったのは、「人との繋がり」でした。青年会議所の委員長として、多くの人々と企業、団体と関わる機会を得ました。多くの方々の協力を得て、私一人ではできないことが実現していく中で、人の温かさや支え合うことの大切さ、感謝の気持ちを再確認しました。こうした経験は、私の人生にとって大切な宝物です。この貴重な機会をいただけたことに心から感謝しています。この一年間で実施した事業にご協力いただいた皆さま、事業に参加してくれた子どもたち、そして子どもたちを快く送り出してくださった保護者の皆さまに、輝く青少年確心委員会としても心より感謝申し上げます。皆さまのご支援があったからこそ実現できたことです。本当にありがとうございました。



秘密基地～諦めない奴に誰も勝てっこない～

後輩へのメッセージ

委員長としての経験を通して感じたことですが、「やればやっただけ、良い事業になる」というのは本当にその通りです。たとえ自分の担当でなくても、他の委員長の事業に対しても「自分ごと」として関わってみてください。その意識で取り組むことで、活動が自分にとって有意義なものになり、庄原青年会議所での経験がますます楽しく充実したものになります。

もちろん、大変な時や思い通りにいかないこともあるかもしれませんが、そんな時は少くらしい愚痴を言いながらも、楽しむ気持ちを忘れずに進めてください。そうすることで、得られるものがきっと増えていくと思います。皆さんの前向きな挑戦を応援しています！